

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者活動の経費

社会参加・生きがい対策事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 高齢者の方

意図 高齢者の外出機会の増の支援等を図るため。

効果 高齢者の健康維持及び介護予防を図る。

【事業の内容】

(1) 社会参加・生きがい対策事業

- ・ 65歳以上の方が市内の公衆浴場を利用する場合に、入浴料の一部を助成した。
- ・ デイ銭湯事業や生きがい対応型デイサービス事業を行い介護予防サービスを提供した。
- ・ 老人クラブへ補助金を交付した。

(2) 高齢者活動サービス事業

- ・ 75歳以上の方を対象に市内に路線があるバス会社、江ノ島電鉄、湘南モノレールの乗車証等を購入する際に助成を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

高齢者活動サービスの充実(4-1-1-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額																								
72,745	71,399	69,678		1,721																								
主な支出内訳																												
・ 社会参加・生きがい対策事業																												
高齢者入浴助成事業委託料 延枚数 93,492枚 実利用者数 4,724人 18,150																												
デイ銭湯事業委託料 延利用者数 4,551人 実施回数 400回 22,050																												
生きがい対応型デイサービス委託料 5,040																												
老人クラブ運営費補助金 クラブ数 81クラブ 会員数 3,887人(平成20年度末現在) 5,247																												
老人クラブ連合会補助金 1,836																												
生きがい対応型デイサービス利用状況																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>延利用者数(人)</th> <th>実施回数(回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教養センター</td> <td>117</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>名越やすらぎセンター</td> <td>379</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>玉縄すこやかセンター</td> <td>240</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>今泉さわやかセンター</td> <td>408</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>デイ・西かま</td> <td>624</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>デイ・西かまランチ大船</td> <td>591</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>地域展開型デイ・5か所</td> <td>1,325</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>					施設名	延利用者数(人)	実施回数(回)	教養センター	117	8	名越やすらぎセンター	379	24	玉縄すこやかセンター	240	16	今泉さわやかセンター	408	32	デイ・西かま	624	48	デイ・西かまランチ大船	591	60	地域展開型デイ・5か所	1,325	60
施設名	延利用者数(人)	実施回数(回)																										
教養センター	117	8																										
名越やすらぎセンター	379	24																										
玉縄すこやかセンター	240	16																										
今泉さわやかセンター	408	32																										
デイ・西かま	624	48																										
デイ・西かまランチ大船	591	60																										
地域展開型デイ・5か所	1,325	60																										
・ 高齢者活動サービス事業																												
高齢者割引乗車証等購入費補助金 実利用者数 7,931人 15,862																												
主な特定財源																												
・ 国県支出金 2,374																												

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-19 社会参加・生きがい対策事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	0889 社会参加・生きがい対策事業 0889 社会参加・生きがい対策事業 1008 高齢者活動サービス事業	・入浴助成・デイ銭湯・生きがいデイ ・老人クラブ ・割引乗車証				
主管課	高齢者福祉課(高齢者いきいき課)			関連課			
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	高齢者の健康と生きがいづくり						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	69,678千円	67,365千円	72,224千円			
	(国・県)	2,374千円	2,491千円	2,906千円			
	(負担金等)						
	(一般財源)	67,304千円	64,874千円	69,318千円			
	人員配置数	1.7人	1.4人	1.7人			
	人件費	16,026千円	13,442千円	16,032千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	85,704千円	80,807千円	88,256千円	H20 対象者数 (60歳以上) :60,610人		
	市民1人当 りの経費	486円	459円	504円			
対象者1人 当りの経費	1,414円	1,412円	1,584円				
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価	
地域展開型生きがい対応型デイサービス事業	330	各センターで行っていたデイサービス事業を、町内会館・自治会館等で行うことにより、地元に着した地域の住民が参加しやすい形態にした。			④	① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
高齢者割引乗車証等利用率	○	目標値	40%	40%	40%		
		実績値	34%	37%			
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 老人クラブ会員の加入促進。 生きがい対策事業を利用するうえで地域差がみられた。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ①老人クラブへの加入促進の為、メディアを利用した広報活動を引き続き行った。 また、老人クラブ会員内でも若い年齢層を中心に「勢年部」を立ち上げ、老人クラブの活動をより広げ充実させるべく、その準備を行った。 ②活動サービス事業の周知・利用促進のため、展示・発表を引き続き行った。 また、老人福祉センター以外の場所で行う「地域展開型」生きがい対応型デイサービス事業を新たに立ち上げ、5か所で実施した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 老人クラブ会員の加入者が微増にとどまった。 生きがい対策事業を利用するうえでの地域差が、まだ是正されていない。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 引き続き、メディアを利用して老人クラブの活動をPRし、会員の加入促進を図るとともに、連合会への支援ボランティア募集や「勢年部」の活動を充実させることにより、イメージの刷新と活性化を図る。 高齢者割引乗車事業の拡充を図り、外出支援の促進に努める。 地元に着した生きがい対策事業として、自治会館・町内会館等を利用して行う「地域展開型」生きがい対応型デイサービス事業を充実させ、地域差の是正を図っていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	介護予防の観点から、市民がより参加しやすい事業への転換と拡充が必要である。				
担当課長氏名:	高齢者いきいき課長 野田 充博				

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	介護予防施策を充実し、介護保険給付の伸びを抑える。				
担当部名	健康福祉部	部長名	石井 和子		